

シンポジウム「風土記の時代と鷹塚古墳」

－鷹塚古墳県史跡指定記念・風土記編纂1300年－

1. 開催の主旨

別府市実相寺に所在する鷹塚古墳は、別府大学文化財研究所の調査で、大分県内で最大の石室を持つ方墳であることが判明した。この調査を受け、鷹塚古墳は、別府市の史跡指定を経て、平成 25 年に大分県の史跡指定を受けた。古墳は、前方後円墳が作られなくなる聖徳太子や蘇我馬子・推古天皇が活躍した飛鳥時代に築造されたものであり、別府市や大分県の歴史ばかりでなく、日本史を考える上でも重要な発見となり、研究者たちに注目されている。

これから鷹塚古墳を、国の史跡への指定へ向けて、その重要性を示してゆくに当たって、この古墳の重要性を一般の方々にも知っていただくべく、文化財セミナーを開催する。

2. 日時

2014 年(平成 26)2 月 8 日(土) 13:00～16:30

3. 会場

別府大学メディア教育・研究センター(4 階メディアホール)

4. 内容

13:00～16:30 文化財研究所 第 17 回文化財セミナー シンポジウム「風土記の時代と鷹塚古墳」

進行：下村 智(別府大学文化財研究所長)

▼開会の挨拶	13:00～13:05		下村 智(別府大学文化財研究所長)
▼基調講演	13:05～13:45	「豊後国風土記にみえる首長たち」	飯沼 賢司(別府大学教授)
▼報告	13:50～15:10	(一人当たり持ち時間：20分(正味15分)×4人)	
		「速津媛と別府の古墳群」	田中 裕介(別府大学教授)
		「鷹塚古墳の発掘調査」	上野 淳也(別府大学准教授)
		「豊前北部の大型方墳と群集墳の分布について」	井上 信隆(みやこ町教育委員会)
		「石室からみた鷹塚古墳」	玉川 剛司(別府大学)

▼休憩 15:10～15:20

▼パネルディスカッション

15:20～16:30(※会場発言・質疑応答は最後に)

コーディネーター

田中 裕介(別府大学教授)

パネリスト

上野 淳也(別府大学准教授)

井上 信隆(みやこ町教育委員会)

玉川 剛司(別府大学)

5. 備考

▼主催：別府大学文化財研究所・別府大学アジア歴史文化研究所

▼後援(予定)：大分県教育委員会・別府市教育委員会・大分合同新聞社

別府史談会・古代朝鮮文化を考える会・歴史と自然を考える会・大分県考古学会

▼入場料：無料

▼事前申し込み：不要

6. 連絡先

別府大学文化財研究所(事務担当：大山)

〒874-8501 大分県別府市北石垣 82 Tel：0977-27-6116(代)／0977-27-6203(文化財研究所直通)